

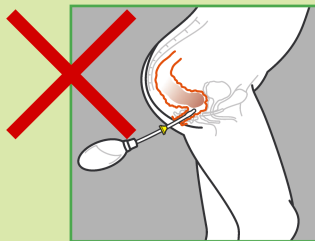
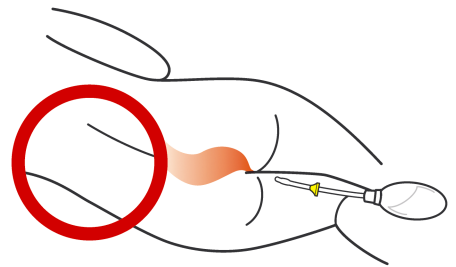
グリセリン浣腸「オマタ」の取り扱い方法と注意点

- グリセリン浣腸は、腸の動きを活発にして、硬い便をやわらかく滑りやすくして排出する浣腸剤です。
- 本品は、液漏れやチューブの変形を避けるために横に寝かせて保管してください。
- 肛門からチューブを挿入して使用するため、腸を傷つけないよう注意する必要があります。
- 安全にご使用いただくために、ご使用前に以下の注意点をご確認ください。

姿勢

- ① 左側を下に横向きに寝て、ひざを軽くお腹の方に曲げ、やや前屈の姿勢をとります

- 正しい姿勢をとることで、腸のカーブしている部分の角度がゆるやかになり、チューブ挿入の際に腸を傷つける危険を軽減します。



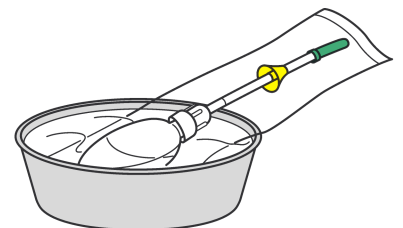
立った状態での浣腸処置は危険ですので行わないでください

- 立った状態では、お腹に圧力がかかることによって腸のカーブしている部分の角度が鋭角になり、チューブ挿入の際に腸を傷つけてしまうおそれがあります。

温度

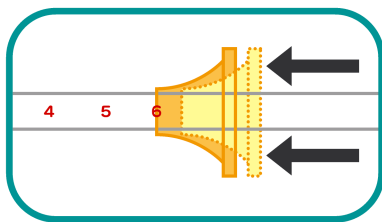
- ② 袋ごとお湯(50℃未満)に入れ、体温程度に温めます

- 体温より高い温度で注入するとやけどするおそれがあるのでご注意ください。
- チューブは折り曲げず、必ず袋ごと温めてください。

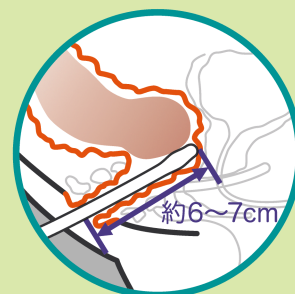


ストッパーの調節

- ③ ストッパーの先端を5~7に合わせます



- 成人の場合、チューブ挿入の長さの目安は**5~7cm**です。

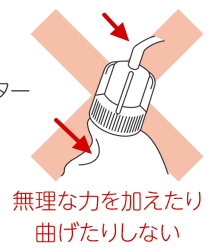
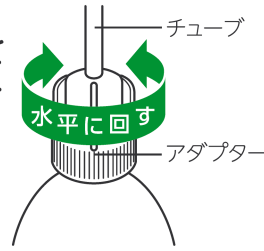


肛門から約 6~7cm 挿入すると、腸のカーブしている部分にぶつかります。そのため、7cmを超えてのチューブの挿入は危険です。(設定したストッパー位置より深く挿入しないことが重要です)

開栓

④ チューブを上向きにして、アダプターを左右どちらかに1回転して開栓します

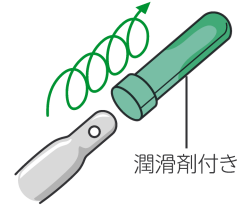
- アダプターを、曲げるようにして無理に回すと、液漏れをおこすことがあります。ご注意ください。
- アダプターの根元は強く押さえないでください。
- アダプターは回しすぎてもはずれる心配はありません。



キャップ

⑤ キャップを回しながらはずします

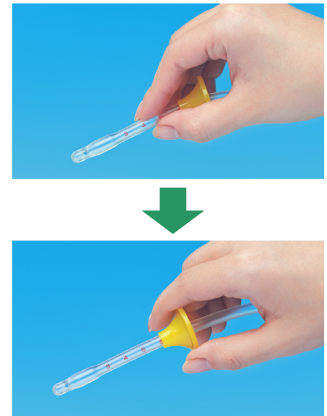
- キャップ内側の潤滑剤をチューブ先端全体に塗布できます。
- キャップをつけたまま挿入すると、腸を傷つけるおそれがあります。キャップのはずし忘れにご注意ください。



挿入

⑥ 初めにチューブの先端を持って1~2cm挿入し、その後ストッパーを持ちながら、ゆっくり挿入します

- 挿入途中で抵抗を感じたり、不快感が生じた場合は、ただちに中止してください。
- 挿入に際して抵抗が感じられる場合には便や痔などに衝突している可能性があります。無理に挿入したり、勢いをつけて挿入すると、腸を傷つけたり、腸に穴をあけてしまったりする危険があります。



注入

⑦ 少しずつゆっくりと浣腸液を注入します

- 挿入・注入中は、大きく呼吸し、お腹の力を抜いてリラックスしてください。
- 挿入・注入中に抵抗を感じたり、不快感が生じた場合には、ただちに中止し、医師に相談してください。

抜管

⑧ ストッパーを確認しながら、ゆっくりチューブを抜き取ります

- 肛門部をティッシュ等で押さえ、便意が強まってから排便させるようにしてください。

観察

⑨ チューブを抜き取った後、チューブとストッパーに血液の付着などが無いか確認します

- 通常、グリセリンは腸粘膜から吸収されることはありませんが、腸の粘膜が傷ついて傷口からグリセリン液が吸収されると、血液中の赤血球を破壊したり、腎臓に障害を起こしたりするおそれがあります。チューブやストッパーに血液が付着している場合、直腸粘膜が傷ついている可能性がありますので、速やかに医師に相談してください。
- 排便に伴い血圧変動などで気分が悪くなることがありますので十分な観察が必要です。